「地域共創インフラツアー」に関するご紹介

令和7年3月 北海道開発局 開発連携推進課







北海道開発局の「インフラツーリズム」の取組



☆北海道開発局が推進する2つのインフラツーリズム

「地域共創インフラツアー」と「ツアー向けインフラ見学枠の公開」の違いについて

「地域共創インフラツアー」の取組イメージ ▼









地域共創 インフラツアー

地域(自治体、DMO等)

北海道開発局(開発建設部 地域連携課等)

〇各開発建設部が地域(自治体・DMO等)と調整し、公共施設と様々な地域資源とを組み合わせて、地域発展のストーリー等の理解促進に資するメニューの概要を示した上で、催行可能な旅行会社等を募集し、旅行会社等がツアーを企画・催行する取組。

「ツアー向けインフラ見学枠の公開」の取組イメージ▼









ツアー向け インフラ 見学枠の公開

観光事業者(旅行会社等)

北海道開発局(事務所、事業所等)

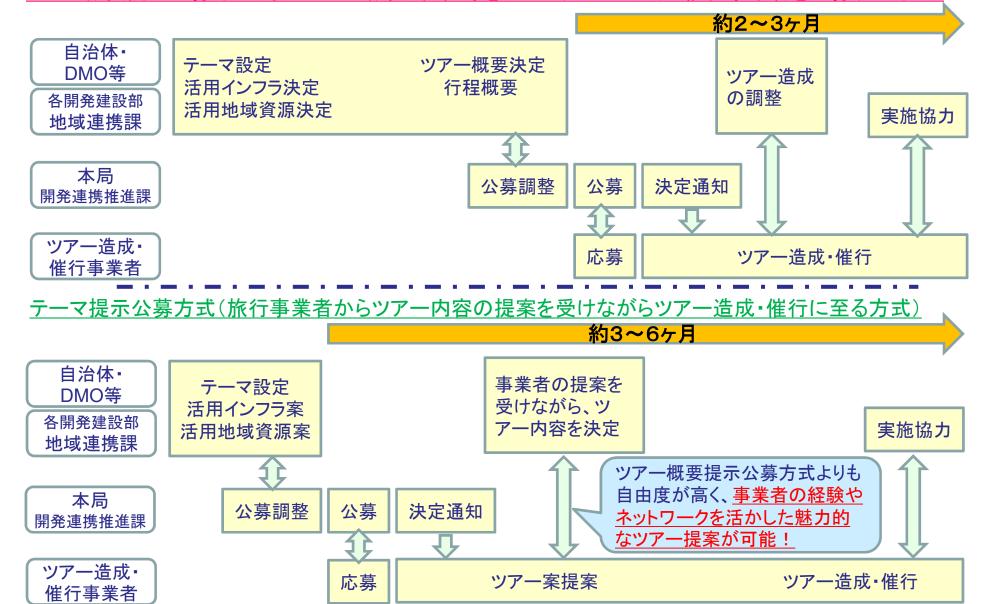
〇北海道開発局が見学の受入を公表している公共施設を対象として、施設見学を組み込んだツアーを旅行会社等が企画・催行する取組。

「地域共創インフラツアー」の手続きについて



★地域共創インフラツアーは「2つの方式」があります。違いは以下のとおりです。

ツアー概要提示公募方式(予めツアー概要・行程等を示して、ツアー造成・催行事業者を公募する方式)



「地域共創インフラツアー」のこれまでの状況



令和元年度以降の企画・応募・催行の開発建設部別一覧

表1:地域共創インフラツアー(旧インフラわくわくツアー)の企画・応募・催行実績

開建	令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度			令和元年度			合計		
	企画	応募	催行	企画	応募	催行															
札幌	3	1	0																3	1	0
函館	1	1	1													1	0	0	2	1	1
小樽	1	0	0	1	0	0				1	1	1							3	1	1
旭川													2	1	1	1	1	1	3	2	2
室蘭	1	1	0													1	1	1	2	2	1
釧路	3	3	3	4	4	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	11	11	7
帯広	1	1	0	2	2	0	1	1	1	2	2	0	1	1	1	1	1	0	8	8	2
網走	1	1	0										1	1	0	2	2	1	4	4	1
留萌							1	1	1										1	1	1
稚内	2	0	0																2	0	0
合計	13	8	4	7	6	2	3	3	3	4	4	1	5	4	3	7	6	3	39	31	16

- ・令和元年度から令和5年度までは、「インフラわくわくツアー」、令和6年度は、「地域共創インフラツアー」の実績。
- ・「企画」は、各開発建設部と自治体・DMO等の共創により、旅行事業者の公募に至った件数。
- •「応募」は、旅行事業者を公募した件数のうち、応募があった件数。
- 「催行」は、旅行事業者が造成・参加者募集を行ったツアーのうち、催行に至った件数。

「地域共創インフラツアー」 令和6年度催行事例①



地域共創インフラツアー函館編

「~過去から現代までの歴史を巡る~

時代と共に発展してきた「みなみ北海道の交通」を見てみよう!」

· 令和6年7月5日(金)催行 · 参加者 21名

ツアーのリーフレット



▷みなみ北海道の交通に関係する地域遺産やトンネル工事現場の 見学を通して、みなみ北海道の交 通の歴史と「いま」を学ぶツアー。



オオヌマトンネル工事を職員の解説付きで見学



函館漁港を職員の解説付きで見学

<ツアーメニュー(見学施設など)>

御殿山第一砲台(旧函館軍事要塞)、函館漁港 船入澗防波堤、函館どつく㈱ 第1号乾ドック、北海道縦貫自動車道 オオヌマトンネル工事、函館市電 駒場車庫

(お客様の声)

・函館近郊の新旧インフラをインフラツアーに参加し、普段外からしか見ていない施設を見学して、あらためて幕末から日本の近代産業の先端的役割を果たしてきた地域だと実感することが出来た。そして、現在も継続して進められているインフラ整備が未来の道南の生活に寄与することを嬉しく思う。

地域共創インフラツアー釧路編

「釧路川と釧路発展の基盤となった産業の歴史日帰りバスツアー」

·令和6年10月20日(日)催行 ·参加者 13名

ツアーのリーフレット



▷釧路の産業発展に寄与した 釧路川を上流から下流へたどり、 その歴史を学ぶツアー。



硫黄山を見学



旧岩保木水門を職員の解説付きで見学

<ツアーメニュー (見学施設など) > 硫黄山・安田釧路鉄道跡、新釧路川左岸堤防道路、旧岩保木水門、 材木町

(お客様の声)

- ・今回参加したメインが岩保木水門で期待していたとおりの満足だった。堤 防側を走行(普段は通行不可)は、水門内部と同じく非日常体験ができ て大変良かった。
- ・岩保木水門の中の見学は、水による被害を守る役目、建物中の機械をみても当時の人の努力と苦労が分かった。

「地域共創インフラツアー」 令和6年度催行事例②



地域共創インフラツアー阿寒編

「阿寒発展の基礎を築いた輸送路の発達」

·令和6年10月23日(水)催行 ·参加者 20名

ツアーのリーフレット



▽阿寒発展の基礎を築いた炭鉱と 輸送の歴史の変遷を学ぶツアー。



セイコーフレッシュフーズ配送センター内部を見学



道東自動車道釧路西IC工事現場で記念撮影

<ツアーメニュー(見学施設など)>

古潭・雄別歴史資料室、雄別炭鉱跡、セイコーフレッシュフーズ釧路配送センター、桜田大橋(北海道横断自動車道)、釧路製作所、北海道横断自動車道釧路西IC、雄別鉄道地下通路出入口跡

(お客様の声)

・32年住んでよく知っているところの違う面をたくさんみられて、また新しい視点を得ることができた。例えば、雄別の鉄道部分は近所でとても身近なところに跡があってなじみのあるところだったが、今回、はじめて頭の中で全部がつながった。

地域共創インフラツアー釧根編 「日本の酪農を支える釧根地域を学ぶ日帰りバスツアー」

·令和6年10月31日(木)催行·参加者 12名

ツアーのリーフレット



○日本の酪農を支える釧根地域における、 家畜飼料原料の輸入拠点である釧路港、 飼料原料の貯蔵施設 - 生乳生産・加工 -道外へ生乳輸送までの道のりをたどりつつ、 物流基盤である道路、港湾のインフラ整備 状況・効果なども併せて体験できるツアー。



道東自動車道釧路西IC工事現場を 職員の解説付きで見学



第二ほくれん丸前で記念撮影

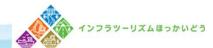
<ツアーメニュー(見学施設など)>

西港区第2埠頭地区国際物流ターミナル、三ツ輪運輸飼料原料貯蔵施設、仁成ファーム、よつ葉乳業(株)根釧工場、北海道横断自動車道 (釧路西IC)、ほくれん丸

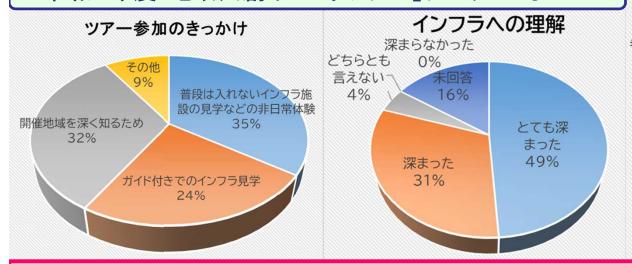
(お客様の声)

・視察先(見学箇所)に牛乳の一生みたいなストーリー性がある点が、このツアーの良い点だと感じた。改めて、酪農のすごさを感じるツアーだった。牛乳飲みます!

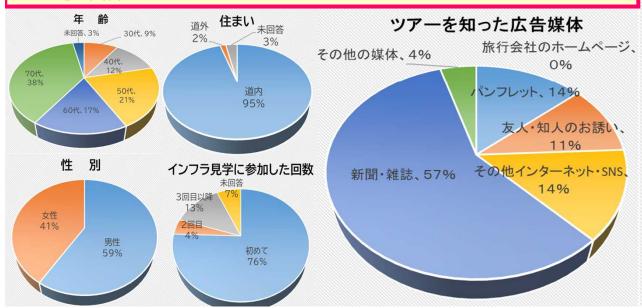
「地域共創インフラツアー」 令和6年度実施結果まとめ



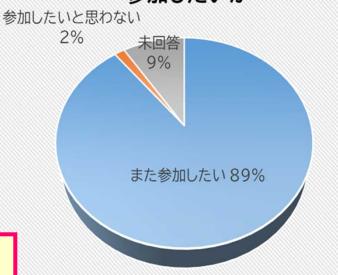
令和6年度「地域共創インフラツアー」アンケートまとめ



- ・ツアー参加者の8割がインフラへの理解が「とても深まった」、「深まった」と回答。
- ・「また地域共創インフラツアーに参加したいか」については、<mark>9割近くが「また参加したい」</mark>と回答。



また地域共創インフラツアーに 参加したいか



他に見てみたい公共施設は

